

当園では、日々の保育の中で様々な取り組みを定期的実施しています。

子どもたちの「伸びる・育つ（すくすく）」と「好奇心・探究心（わくわく）」を応援する東京都の「すくわくプログラム」に参加することで、活動を通じて子どもたちの豊かな心の育ちをサポートして、幼児教育の更なる充実化を図ることを目的としています。

テーマ① 運動

【テーマの設定理由】

子どもたちは体を動かす遊びに興味関心が高く、運動遊びを通して友達と関わる姿が多く見られる。そこで、体操やボール遊び、園庭での遊びなどの運動活動を通して、幼児同士の関わりやコミュニケーションを自然に促すことを目的として本テーマを設定した。

また、異年齢の子ども同士が同じ活動を経験することで、互いの姿を見て刺激を受けたり、協力したりする姿を育むこともねらいとした。

【活動スケジュール】

実施期間：4月～2月

主な活動内容

- ・ホールでの体操教室
- ・外部講師によるサッカー教室

活動は定期的実施し、子どもたちが継続して体を動かす楽しさを感じられるよう計画した。また、日常の遊びの中でも運動遊びを取り入れ、活動が自然に広がるよう環境を整えた。

【振り返り】

運動遊びを通して、子どもたちが友達と自然に関わりながら活動する姿が多く見られた。特に、ボール遊びや簡単なルールのある遊びを取り入れることで、声を掛け合ったり順番を守ったりする経験につながっていた。

また、子どもたちは活動を重ねる中で「できた」「もう一度やりたい」といった意欲を高め、主体的に運動に取り組む姿が見られた。

今後も子どもたちの興味や発達に応じて活動内容や環境を工夫しながら、日常の遊びや他の活動とも関連づけて、継続的に体を動かす楽しさを育んでいきたい。



テーマ② 英語

【テーマの設定理由】

子どもたちは歌や遊び、イラストなどを通して言葉に興味を示す姿が多く見られる。英語に触れる機会を設けることで、異なる言語や表現に親しみながら、友達や講師とのやり取りを楽しむ経験につながると考え、本テーマを設定した。

また、ネームプレートやイラストカードなどを活用することで、子どもたちが英語の言葉や音に自然に触れ、自分から声に出したり、友達と一緒に楽しんだりする姿を育てることをねらいとした。

【活動スケジュール】

実施期間：4月～2月

実施回数：年間10回

主な活動内容

- ・英語講師による保育室での英語活動
- ・ネームプレートやイラストカードを用いた英語の学び
- ・英語でのあいさつや簡単な会話

活動では、子どもたちが無理なく英語に触れられるよう、歌やゲームなどの遊びを取り入れながら楽しく参加できる内容を計画した。

【振り返り】

英語活動を通して、子どもたちは英語の音や言葉に興味を持ち、楽しみながら発声する姿が見られた。

特に、イラストカードや歌、ゲームなどを取り入れることで、子どもたちが自然に英語に触れ、友達と一緒に言葉を発する姿が増えていた。

また、活動の中で講師や教諭とのやり取りを経験することで、英語に対する抵抗感が少なくなり、積極的に参加する姿につながっていた。

今後も子どもたちの興味や関心に合わせて教材や活動内容を工夫しながら、英語に親しむ機会を継続的に設けていきたい。



テーマ③ 食育

【テーマの設定理由】

子どもたちは日々の食事を通して野菜等の食べ物に触れているが、野菜がどのようにして育つのか、どのような料理になるのかを知る機会は多くない。そこで、自分たちで野菜を育てることや収穫体験、調理体験などを経験することで、食べ物への興味や関心を高めることを目的として本テーマを設定した。

また、友達と一緒に苗を育てたり調理したりする経験を通して、作る楽しさや食べる楽しさ、食材への感謝の気持ちを育むこともねらいとした。

【活動スケジュール】

実施期間：4月～3月

実施回数：年間10回

主な活動内容

- ・ミニトマトの苗植え、水やり
- ・成長の様子を観察し、絵で記録
- ・お泊り保育でカレー作り
- ・畑での芋掘り体験
- ・お餅つきや豚汁作りなどの食体験

これらの活動を年間を通して計画し、子どもたちが食材に触れながら食への興味を深められるよう取り組んだ。

【振り返り】

野菜を育てる活動や収穫体験、調理体験を通して、子どもたちは食べ物への関心を高める姿が見られた。特に、自分たちで育てた野菜を収穫したり、調理して食べることで、食べ物への関心や大切さを感じる様子が見られた。

また、友達と一緒に活動する中で「これ食べられるかな」「おいしいね」など会話が広がり、食に関する経験を共有する姿が見られた。

今後も栽培活動や調理体験を取り入れながら、子どもたちが食べ物への興味や関心を持ち続けられるよう取り組んでいきたい。





テーマ④ どうぶつ

【テーマの設定理由】

子どもたちは日常の中で動物に対して興味や関心を示す姿が見られる。動物について知ったり、実際に触れ合ったりする経験を通して、命の大切さや思いやりの気持ちを育むことを目的とした。

また、観察や関わりの中で気づいたことを友達と共有することで、興味や探究心を深めることをねらいとした。

【活動スケジュール】

実施期間：10月～11月

主な活動内容

- ・紙芝居や絵本を通して動物について知る
- ・グループで動物について調べる・話し合う
- ・一日動物村で実際に動物と触れ合う
- ・活動後の振り返り（絵・言葉・共有）

子どもたちが無理なく関わられるよう、事前学習から体験、振り返りまで段階的に活動を構成した。

【振り返り】

活動を通して、子どもたちは動物に対する興味や関心を高め、積極的に関わろうとする姿が見られた。

また、実際に触れ合う経験を通して、優しく接しようとする姿や、命を大切にしようとする意識の芽生えが見られた。

さらに、友達と感じたことを共有する中で、自分の気づきや発見を言葉や表現で伝えようとする姿が見られた。



テーマ⑤ 表現

【テーマの設定理由】

子どもたちは日々の遊びや生活の中で、歌やダンス、言葉など様々な形で自分の思いや考えを表現している。発表会に向けた活動を通して、友達と協力しながら一つの表現を作り上げる経験を重ねることで、表現する楽しさや達成感を味わうことができると考え、本テーマを設定した。

また、自分の思いや考えを友達と話し合いながら活動を進めることで、互いの意見を尊重し合いながら表現活動に取り組む姿を育てることもねらいとした。

【活動スケジュール】

実施期間：1月～2月

実施回数：10回

主な活動内容

- ・発表会に向けて、学年ごとにダンスやオペレッタに取り組む
- ・市民の大きなホールの舞台上で発表を行う
- ・保護者への感謝の気持ちを込めて合唱を行う

練習や表現活動を重ねながら、友達と協力して一つの発表を作り上げる経験ができるよう計画した。

【振り返り】

発表会に向けた表現活動を通して、子どもたちは友達と協力しながら一つの活動に取り組む経験を重ねることができた。練習を重ねる中で、表現する楽しさや達成感を感じる姿が見られ、自信を持って舞台上に立つ姿につながっていた。

また、活動の中で子ども同士が意見を出し合いながら取り組む姿が見られ、互いの考えを尊重し合う経験にもつながっていた。

今後も日常の保育の中で歌やリズム遊び、表現活動を取り入れながら、子どもたちが自分の思いや考えを自由に表現できる機会を大切にしていきたい。

